

# メタセコイア

学園史編纂委員会通信 第3号

2013年8月5日発行  
発行責任者：池田 健夫  
近江兄弟社学園学園史編纂委員会

## 本年度第二回近江兄弟社学園史編纂委員会 7月16日(火)

**出席者**：池田健夫、道城献一、檜山秋彦、中西完次、林昌治、伊吹章、安川千穂、宮川富己子、武藤敬助、中島薫、辻友子、池田隆男、豊田秀三、太田典子、押谷美樹、山中昭美、森田一生、福田耕治

### **伝達講習** 「蔵書から見たウィリアム・メレル・ヴォーリズ」

報告者：檜山 秋彦 (編纂委員会事務局長)

さる6月29日、ハイド館で開催された、NPO 法人ヴォーリズ精神継承委員会年次総会における永芳稔氏の講演を伝達した。

本講演は、永芳氏が、ヴォーリズ記念館に財団が所蔵する書籍と学園の希望館やハイド館に学園が所蔵する書籍の両方を調査し、表題・著者・発行年はもちろん、書籍の中に購入年月や購入者、メモなどの書き込みがあるかまで克明に調べてリストを作成された仕事を通して、垣間見たヴォーリズの人間像を縦横に語ってもらうことに目的があった。

全蔵書のリストは三千数百件に達し、その領域は通俗小説から、伝記・地誌・料理・教育・詩歌・伝道・聖書まで極めて幅広く、且つ深く専門的な内容の書籍であったという。犬や山羊の飼い方の本ですら、分厚い専門書にしっかり下線や書き込みの読み痕が認められた。それは、ヴォーリズが極めて幅広い好奇心を持ち、何事に対しても徹底して準備・研究してからとりかかるといった性格の持ち主であったことをうかがわせる。

特に多いのが小説類で、シェークスピア、ディッケンズ、オー・ヘンリーなどの全集はもちろん、ハリッド・ストーン、トルストイ、イプセン、アンデルセンなど当時話題の作家の書物が網羅されている。ヴォーリズの読書量から、彼が「基本的な教養」に関心があったことが知られ、それは入学を許可されているマサチューセッツ工科大学への進学をやめ、コロラドカレッジという「リベラルアーツ・カレッジ」を卒業するという選択をした時点で確固たる信念になったと思われる。「リベラル・アーツ」とは、古代ギリシャ・ローマ文化の中で確立した「自由な人間になるための全人的技芸」と訳される言葉である。

次に多かったのが伝道・信仰の本で、特に中国・インドなどアジア地域の海外伝道記録。

第三番目に多いのが教育関係で、このことについては、学園関係者にはあらためて別の機会に詳しく話したいとのことであった。注目すべきは幼児教育への関心で、すでに来日する前1903～4年にヴォーリズが幼児教育の専門書を購入してサインしている。その中には障害児教育・幼児教育の基礎をつくったといわれるモンテストリーニ(イタリア)、またその弟子で、日本の大正自由主義教育に影響を与えたヘレン・パーカスト(アメリカ)の著書などがある。このあたりから玉川学園や成城学園とヴォーリズのかかわりのきっかけも類推される。

四番目に多いのは詩集・歌集で、ブラウニング、

ミルトン、ワーズワースなど、幅広い。テニスンには、ヴォーリズ自身の「失敗者の自叙伝」の「失敗者」の語に繋がるかと推測される詩がある。

その他、家事教本、ダンベル体操、手相の研究など雑学本も署名入りでしっかり読まれている。

以上、紙面の関係で「伝達講習」の内容をさらに抄訳した文章になりました。内容や文言はすべて檜山のもので、永芳氏の言葉そのものではありません。

### **伝達講習を聞いて** (感想、意見)

○「蔵書から見たウィリアム・ヴォーリズ」の講義をお聞きして、ヴォーリズ蔵書が、文学、宗教、教育などからミツバチの飼い方(!)に至るまで、本当に多岐にわたっていることに驚きました。ヴォーリズさんご自身の興味の広さと深さと豊かさの表れなのでしょう。

学園希望館の玄関にある近江ミッション記念文庫の蔵書も整理したいと思いつつ、なかなか手をつけられていませんが、ぜひ、全体像を把握できるようにしたいと改めて思いました。

(学園図書館館長 太田典子)

○ヴォーリズを知っている人は、卒業生から研究者など様々な立場の人がいると思います。友達の輪ではありませんが、ヴォーリズを知る人たちの輪みたいなものを結成し、インターネット上で情報を集めてはどうでしょうか。写真、思い出、エピソードなどを集めれば、新しいことも分かってくるのではないのでしょうか。(S.T.)

○永芳氏のその深い学識と巧みな話術に驚き感心いたしました。また、貴重な書物がぞんざいに扱われているというご指摘に申し訳なく思いました。残された書物から創立者がどのような人物だったかと推論されるのはとても新鮮でした。可愛らしい1冊として「愛少女ポリアンナ」を挙げられましたが、小学生の頃読んだ「少女パレアナ」の原作だとすぐにわかりました。ポリアンナはどんな逆境でも常に物事の「良いところ探し」をする遊びをして神様に感謝するのですが、ヴォーリズ氏がそこに共感をして読まれたのだらうと思いました。(A.Y.)

**編纂資料室の資料より**

航空写真（ヘリコプターからの撮影）

（この写真は1967年～1970年ごろ撮影されたものです。年号を特定することができる方がおられましたら、ご連絡ください。）



北側からの撮影：旧本館が竣工直後ではないかと思われます



南東側からの撮影



近江兄弟社サナトリウム（現ヴォーリス記念病院）



真ん中の建物が株式会社近江兄弟社（左下は滋賀銀行）



近江兄弟社学園のグラウンドから飛び立つヘリコプター